

Cisco CallManager 3.1 用の Cisco WebAttendant で使用するための Cisco IP 電話のセットアップ

目次

[概要](#)

[ツール情報](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco WebAttendantはCisco IP Phoneと連携して動作します。Cisco CallManager、Cisco WebAttendantクライアントとCisco IP Phoneは、Cisco WebAttendantアプリケーションの設定]ダイアログボックスで定義されたMACアドレスによって接続されます。

Cisco WebAttendantクライアントは、関連するCisco IP Phoneと同じCisco CallManagerサーバに接続するように設定する必要があります。これは、Cisco IP Phoneが正常に登録されているクライアントの設定]ダイアログボックスでCisco Telephony Call Dispatcher (TCD) の設定セクションのIPアドレスまたはホスト名フィールドがCisco CallManagerサーバのアドレスであることを意味します。

Cisco WebAttendantで使用されているCisco IP Phoneには次のガイドラインを満たす必要があります:

- Cisco WebAttendantは任意のCisco IP Phoneモデル7960/7940を使用してCisco IP Phone 12一連、またはCisco IP Phone 30VIPモデルです。
- Cisco IP PhoneはCisco CallManagerデバイスとしてCisco WebAttendantで使用する前に追加する必要があります。
- Cisco WebAttendantで使用されている電話機の共有回線アピランスを使用しないでください。システムのほかのデバイスでCisco WebAttendantと表示は、使用されるCisco IPに割り当てられた電話番号をダイヤルします。
- Cisco IP Phoneは正しく動作Cisco WebAttendantの保留、転送のボタンが必要です。ヘッドセットを使用すると、応答/リリースのボタンを割り当てる必要があります。最大8つの回線はCisco WebAttendantで使用するように設定できます。
- Cisco WebAttendantで使用できるスマート(SLs)回線数は回線数はCisco IP Phone (8) までの電話ボタン テンプレートで設定したものと同じです。
- Cisco WebAttendant コンソールとして使用される Cisco IP Phone の回線と電話番号については、コール ウェイティングとコール転送を無効にします。
- Cisco WebAttendantユーザは複数の電話機でCisco WebAttendantにログインし、各電話機にこれらのガイドラインに従って設定されており、各電話機が独自のCisco WebAttendantクライアントに登録されていることを確認します。

必要に応じて電話を作成し、Cisco CallManagerでユーザを関連付けるサポートはCisco [CallManagerでユーザ、電話およびアソシエーションの作成が表示されます](#)。

[インデックス ページ](#)に戻ります。

ツール情報

詳細なリソースについては、シスコ「[ボイス、テレフォニー、およびメッセージング技術用の TAC ツール](#)」を参照してください。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)
- [Field Notice](#)